

社会教育委員の会議次第

- ◆ 開催日時：平成 29 年 3 月 13 日（月）午後 2 時
- ◆ 開催場所：保谷庁舎 3 階会議室

1 開会の言葉

2 議 事

- (1) 平成 28 年度社会教育関係団体補助金について
- (2) 今後の活動について
- (3) その他
 - ①社会教育委員研修会 (3/3) 報告

【配布資料】

- 資料 1 平成 28 年度社会教育関係団体補助金交付確定額
- 資料 2 学校施設開放運営協議会インタビュー項目（案）

次回会議：4 月 17 日（月）午後 2 時
東分庁舎地下会議室

資料 1

平成28年度社会教育関係団体補助金 交付確定額

	団 体 名	代表者名	対 象 事 業	補助金 申額額	交付 確定額
1	西東京レスキューバード	荘 雄一郎	防災情報の市民への広報事業	38,000	38,000
合 計				38,000	38,000

社会教育関係団体補助金対象事業評価シート(報告書審査)案

No1

団 体 名	西東京レスキューバード
事 業 名	防災情報の市民への広報事業
補助申請額	38,000円

番号	評 価 項 目	コ メ ン ト
1	事業の目的・目標	地域の防災に関わる情報をまとめたパンフレットを広く市民に配布し、地域の自主防災に向けた環境醸成を図るという事業目標を達成した。
2	事業の公益性	パンフレットの配布とともに、パネル展示や説明も行い、市民の地震等災害への理解が深まり、地域の避難所運営への関心や市民の防災学習への意識が促進された。
3	補助の必要性	本事業により、地域の市防災計画への理解、防災意識の向上に寄与することができた。
4	事業の貢献性	防災学習で学んだ知識や情報をパンフレットという目に見える形でまとめ、様々な機会を捉え、広く市民に配布することで、日常的に市民の防災への意識を喚起することができた。
5	総合評価	補助金を交付することが適切である。

事業全体に係るコメント

今後も、団体活動の学習成果を積極的に地域に還元するため、事業内容を工夫しながら取り組むことが期待される。

身近な防災知識特集号

市民の皆さん! 防災関係の基礎的な用語や身近な防災知識について、
私たち西東京レスキューバードが分かりやすくご案内します!!

目次

<本文>

防災まち歩きで私たちのまちを再発見! 1

第一回(住吉小・旧泉小地区) 2
防災まち歩きアンケートより

第二回(東小・下保谷地区) 3
防災まち歩きアンケートより

<防災め知識>

まちで見かける「消火器」 1

「ふれまち」ってなあに? 2

「災害時協力農地」とは? 2

避難場所にはどんな種類があるの? 2

市内の小中学校には「避難所運営協議会」があります 3

「スタンドパイプ」って何? 3

災害用伝言ダイヤル「171」を試しておきましょう 4

防災行政無線が電話でも聞けます 4

西東京市安全・安心いーなメールに登録しませんか 4

西東京市の「地域防災計画」が新しくなりました 4

防災まち歩きで私たちのまちを再発見!



2016/6/11 第一回まち歩きより

西東京レスキューバードでは、2016年度から、地域を歩きながら、その地域の皆さんと交流を図り、防災について共に考える「防災まち歩き」イベントを実施しています。ご協力いただいた皆さん、参加された皆さん有難うございました。

第一回:住吉小・旧泉小地区 40名参加

2016年6月11日実施

第二回:東小・下保谷地区 27名参加

2016年9月10日実施

(保谷駅前公民館「防災講座」
として実施)

私たちも、こうしたイベントを通じて、「ふれまち(次ページ参照)」団体さんや、地域包括支援センターの皆さんなどと一緒に歩かせていただく中で、気づかされることが多くありました。

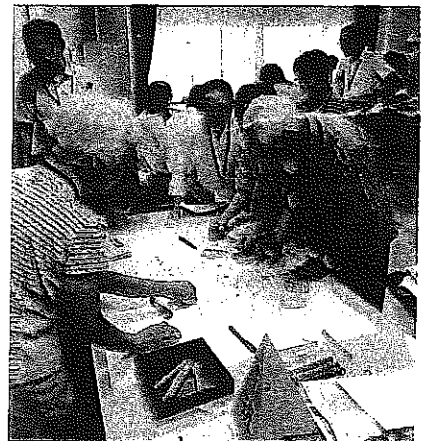
当たり前のことですが、何気なく生活している地域の中に、お年寄りから赤ちゃんまで、また、体が不自由であったり、妊婦さんなど移動に不自由されるような方も住んでおられるのだということを、実感したりしました。

そういう目線で、まちを歩いてみると、ちょっとしたブロック塀や段差、狭い路地、袋小路など、ここで、もし災害があったら考えると、とて

も心配なものに見えてきます。

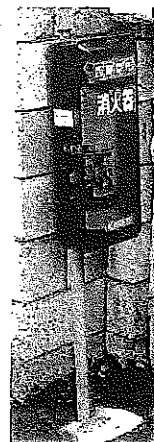
また、「消火器」が意外に多く目についたり、「災害協力農地」という表示を見かけて、調べてみたくなったりしました。

今回の特集号では、身近な防災について、活動を通じて、私たちなりに気づいたり、学んだりしてきたことを、市民の皆さんに分かり易くお伝えしようと思っています。読者の皆さんにも、役立つ情報を発見して頂けたらありがたいです。



2016/9/10 第二回の防災マップ作り

まちで見かける「消火器」



◆まち歩きをしていると「消火器」が意外に多く街角に設置されていることに気づきます。市内には「消火器」が約1,100本設置されています。

◆「地域配備消火器」といって、平常時の火災及び大地震時に予想される火災被害の拡大防止のために、西東京市が設置しているものです。

◆消火器の傷みや紛失等を見つけた時は、西東京市危機管理室まで連絡しましょう。

連絡先:西東京市危機管理室

TEL:042-438-4010

発行:西東京レスキューバード



私たちは、西東京市社会福祉協議会主催の「災害ボランティア養成講習会」の修了者を中心とした市民活動団体で、2015年4月に設立されました。

【活動目的】

- ・災害時に市内に設置される「災害ボランティアセンター」支援などを行います。
- ・平時の防災活動・地域協力活動を行います。

第一回参加者アンケートより

場所: 住吉小・旧泉小地区

実施: 2016年6月11日

参加者40人、アンケート提出34人
とても良かった30人、やや良かった3人、良くなかった1人

参加しての感想

- ・今日歩いた地区は自転車で通るといつも迷うところ、ゆっくり周りを見ながら歩いて良かったです。
- ・普段通っているところもいろいろ再発見できてよかったです。
- ・自分で通っている道でもあんまり考えた事がなかったので、これからはもっと

と考えていきたいと思います。

- ・気づかなかった視点で地域を見ることが出来ました。
- ・すごく勉強になりました。
- ・配られた地図にもう少し工夫が欲しかった。

印象に残ったこと

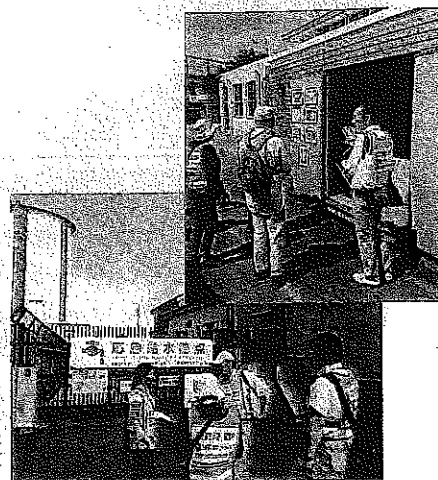
- ・ただ説明を聞くだけでなく自分たちで歩いてマップにするという方法はすごく主体的になれてよかったです。
- ・たくさんの気づきが得られました。
- ・自助の大切さを改めて感じました。
- ・知らないことが多かった。
- ・普段気を付けていないことに気が付くことが出来て良かった。
- ・地域についてよく知ることが出来ました。
- ・防災まち歩きなのに地図がおおざっぱに感じました。
- ・自助が大事だと改めて感じました。
- ・備蓄倉庫も見ることが出来て良かったです。

その他感想

- ・情報交換の場になると感じました。
- ・こういう機会をできるだけたくさん持つことがいざという時に活きるのだと思います
- ・つながりが生活の安心になると感じました。
- ・いろいろな団体の方が参加したことはよかった。

<反省と一言>

第一回実施としては危機管理室連携が実現したほか、多くの団体に参加頂くことが出来、参加した皆さんには喜んで頂けたようです。ただ、配布した



第一回まち歩きでは、避難所運営協議会と危機管理室のご協力により、「防災備蓄倉庫」を見学してから歩き始めました。

地図にルート表示がなくて見にくかったり、防災マップ作業用の地図に歩いたルートが一部足りなかったり、反省点が残りました。

「ふれまち」ってなあに？

- ◆西東京市社会福祉協議会が推進している小学校校区単位の市民活動のことで、正式には「ふれあいのまちづくり住民懇談会」といいます。
- ◆私たちのまち歩きでも「ほっと住吉」(住吉小校区)、「いきいき泉」(旧泉小校区)、「クリーンあけぼの」(東小校区)の皆さんにお世話になりました。
- ◆懇談会毎に、「地域交流」、「防災・防犯」、「清掃活動」、「学習活動」など特色ある活動をされています。



「災害時協力農地」とは？

- ◆防災まち歩きをしていると、広い空地を見かけるとホッとします。でも普段は勝手に入ってはいけませんね。
- ◆緊急時のための「災害時協力農地」(4/1現在33ヶ所)や生鮮食料品についての協定が、西東京市と市内のJAの間で締結されています。あなたの周りでは見かけたことがありますか？



避難場所にはどんな種類があるの？

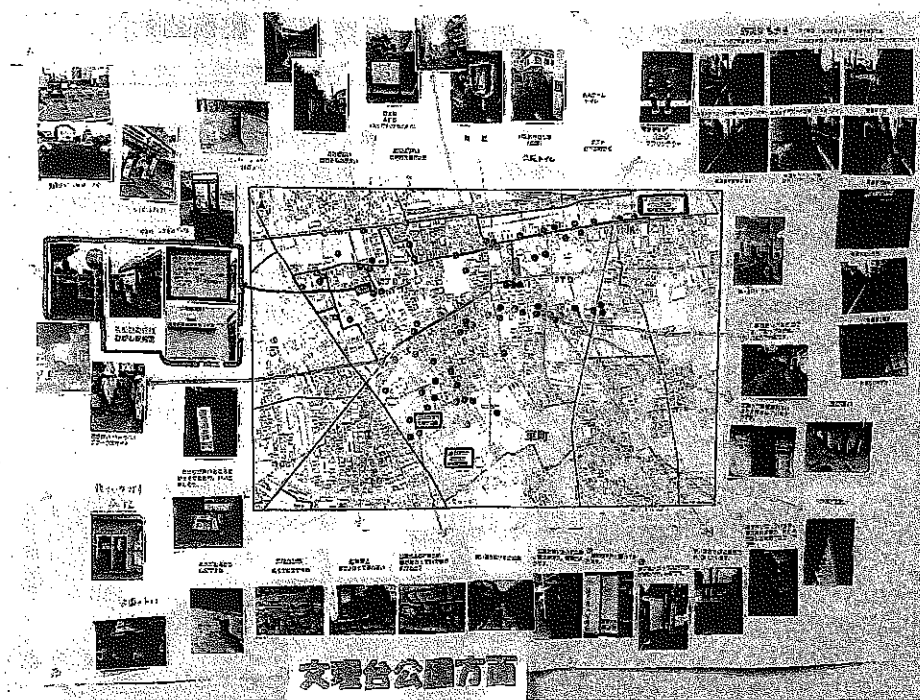
- ◆西東京市では、大地震等の災害の発生に備えて、各種の避難場所の指定を行っています。

- ◆西東京市の避難場所の種類ごとの区分や呼び方は次の通りです。

種別	どんな場所？	箇所	説明
広域避難場所	大きな公園や緑地	6	延焼火災などで広さが必要な場合の避難場所です。
避難広場	小中学校・都立高校などの校庭やグラウンド	43	発災直後に利用する近隣の一時的な避難場所です。
避難施設	小中学校・都立高校体育館など	32	家屋に被害を受けた方が避難生活をおくる施設です。
福祉避難施設	福祉会館や保育園など	29	状況に応じて介護等の必要なサービスを提供する施設です。
一時滞在施設	公民館・図書館や駅前の公共施設など	8	行き場のない帰宅困難な方を一時的に収容する施設です。

(平成28年4月現在)





9/10の防災講座は2日間の講座で1日目が防災まち歩き、2日目が危機管理室・田無警察署からの防災講話と防災マップ作りで、防災マップ作りにある程度時間を掛けることが出来ました。

2016年9月23日から10月13日まで、保谷駅前公民館のロビーに展示されました。

第二回参加者アンケートより

場所: 東小・下保谷地区

実施: 2016年9月10日

受講者27人 アンケート提出23人

性別 男性7人・女性16人

年代 40代4人、50代4人、60代8人、70代6人、80代1人

保谷駅前公民館の防災講座の一日目としての実施で、二日目は、危機管理室と田無警察署からの講話と防災マップ作りでした。

防災まち歩きを体験して

- 満足13人・ほぼ満足9人・やや不満・不満・未記入1人
- 時間が足りなくなってしまう残念だった。
- もっとじっくり歩きたかった。
- じっくり町の中を歩くことがなかったが、普段見えていなかった消火器や井戸など確認出来てとても得るもの

が多かった。

- いつも歩いている道、改めて防災の意識で歩き、発見が多かった。
- ドキドキしながらも楽しく出来た。
- 事前準備(下見のコース決め)から参加し、深く理解することが出来ました。
- まち歩き、とても役に立ちました。
- 異なった観点からの意見を聞くことが出来ました。
- 参加者がとても熱心で、積極的なことに感銘を受けた。
- 普段歩いているのに、意識をもって歩くのは違いました。

今後、防災で取り組んでみたいことや意見など

- このような取り組みが地域の中で少しずつでも広がる事が、減災に必ずつながると思います。
- 地域の人と知り合う必要性を感じます。
- 高齢者、障害のある方の避難場所を

確保していただきたい。

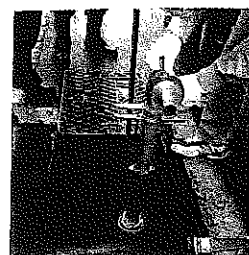
- 地域と避難所を結びつける役割を果たせればと思います。

<反省と一言>

前回反省から下見や地図設定は万全で臨みました。暑さを考え、歩く時間を短くしたため、やや慌ただしく感じられたかもしれません。また、防災マップ作りの時間も、もう少し欲しかったという声が多かったです。さらに工夫していきます。

「スタンドパイプ」って何？

- ◆写真のような「スタンドパイプ」という装置を使うと消火栓が仮設給水場所になります。
- ◆西東京市では「応急給水資器材」として「スタンドパイプ」が避難施設を含め36ヶ所に配備されています(町内会等配備品含まず)。
- ◆非常時には、指定の給水栓から消火用・給水用の水が取り出せます。
- ◆町内会単位等で西東京消防署に申し込むと訓練が受けられます。



市立の小中学校には「避難所運営協議会」が設置されています。

- ◆市立の小中学校(27ヶ所)は災害時の避難施設に指定されています。それぞれの小中学校に学校・PTA・地元の方などを中心とした「避難所運営協議会」が設けられ、定期的に万一の際の備えなどについて話し合っています。

- ◆ご近所の小中学校で、防災訓練や避難訓練などが予定されていないか、地域の情報を収集して、是非参加してみてください。



災害用伝言ダイヤル「171」を試しておきましょう

- ◆災害の発生時には、通話が集中するため電話がかかりにくくなります。
 - ◆家族や知人との間での安否の確認や避難先の連絡などのため、「災害用伝言ダイヤル(171)」が用意されています。
 - ◆局番なしの「171 (イナイ)」に電話するだけで使えます。体験利用日に試しておきましょう。イナイ
- 【体験利用日】**
毎月1日、15日、正月(1/1~3)、
防災週間(8/30~9/5)、防災とボランティア週間(1/15~21)

171

イナイ

防災行政無線が電話でも聞けます。

- ◆西東京市内に設置されたスピーカーから流れる「防災行政無線」の放送を聞いたことがありますか？放送がよく聞こえないときや、市外から確認したいときに、便利な電話サービスがあります。
- ◆西東京市では、放送した防災・災害などに関する内容について、電話で確認できる「防災行政無線自動電話応答サービス」を用意しています。
- ◆電話番号を登録しておくといざという時にすぐ確認できますね。

電話番号: 042-438-4103

西東京市 安全・安心いーなメールに登録しませんか。

- ◆いざという時に備えましょう。西東京市は、市内の防災・防犯に関する情報を、携帯やスマホ、パソコンにメールで届けるサービスを行っています。携帯・スマホから簡単に登録できます。

【空メールで】

nishi-tokyo-city@sg-m.jp に空メールを送ります。

【QRコードで】

QRコードが読み取りできるときはこちらから。



安全・安心いーなメール

西東京市の「地域防災計画」が新しくなりました。

- ◆「地域防災計画」とは市の防災行政の基本となる計画で、最新の平成28年修正版が今年の8月30日に公開されました。
- ◆災害に備える予防や災害時の応急対策、復旧復興のことまで詳細に計画されています。

- ◆市民に関わりが深い項目は「概要版」にまとめられています。市のWebページに掲載されていますので、のぞいて見てみませんか。

西東京市地域防災計画

平成28年修正

編纂版



西東京レスキューバード



郵送先: 〒188-0012

西東京市南町5-6-8イングリッド
ゆめこらぼ内

連絡先: 代表・荘(しょう)

yuichiro.sho@gmail.com

連絡係・立元(たちもと)

touchmoto2@gmail.com

活動日程: 定例会・毎月第二土曜日

13:30~15:30

活動場所: フレンドリーほか

会員数: 33名(2016.10.1現在)

(活動目的は1面ご参照)

WebサイトもOpenしました。

http://

nishitokyorescuebird.cocolog-nifty.com/blog/



編集後記

■団体設立や防災まち歩き実施の支援など、西東京市社会福祉協議会には大変お世話になっています。

■本広報誌の発行には、西東京市教育委員会教育部社会教育課より補助金の支援を頂いています。

■防災まち歩きの実施では、西東京市危機管理室に毎回ご支援を頂いています。

■また、2回の防災まち歩きではそれぞれ地元団体の方々に大変お世話になりました。両団体の代表様からコメントを頂きました。ご支援がなければイベントそのものが成立しなかったほどで、大変感謝しております。

「住吉小避難所運営協議会」保谷 征男様

「知っているようで知らないのが地域のこと、災害に備えて避難場所、給水場所、危険な場所などを調べておくのは大切なことです。今回、西東京レスキューバードが主

催する「防災まち歩き」を共催し多くの地域の人の参加を得ました。防災意識の高まりを感じるとともに、地域活動での連携の重要性を再認識したまち歩きでした。」

ふれまち「クリーンあけぼの」原 孝雄様

『普段見慣れた街。いまさら何を見えるの？とやや戸惑う。が、意識して見ると、「そうそう」「あれー」「どうなってるの」「ここもよ」の音が響く。集団でチェックすることで改めて危険(安全?)個所が確認できた。「自分達で、できることからしよう」と気付かせてくれた「防災まち歩き」。レスキューバードの皆さんに多謝!』

■西東京レスキューバードは、西東京市内在住・在勤・在学の方で、本会の目的に賛同いただける方ならどなたでも加入頂けます。詳しくは左記連絡先まで。

